

質問日	令和2年9月30日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	9	会派名	自由民主党浜松	議席番号	46	氏名	柳川 樹一郎
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 浜松市総合計画の進捗状況について	<p>平成26年12月に計画期間30年間とした総合計画基本構想「浜松市未来ビジョン」が策定され、早くも5年が経過し6年目を迎えた。策定に当たっては、市民と共有する未来の理想の姿を設定し、30年後を見据えた長期的展望に立ち、市民ニーズを捉えた新・総合計画の策定を本市独自で進めてきた。</p> <p>そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 新・総合計画における理念について伺う。</p> <p>(2) 計画の推進において、市民のために、どのような取組を行ってきたか、具体的に伺う。</p> <p>(3) 集中的に力を注いできたこととその評価について伺う。</p> <p>(4) 近年、頻発する自然災害や、世界がかつて経験したことがない新型コロナウイルス感染症など、新たな課題への対応について伺う。</p>					鈴木副市長 " " 長田副市長	
2 遠州灘海浜公園江之島地区の整備について	<p>遠州灘海浜公園江之島地区には、南部清掃工場の建設に伴い、昭和45年に清掃工場の余熱を利用した本市における最初の温水プールが設置され、昭和54年には競技用プール・ダイビングプール・25メートルプールが整備された。オリンピックで金メダルを獲得した北島康介氏も、古橋廣之進氏を記念したとびうお杯大会に出場し、このプールで育っていった。しかし、時代と共に老朽化した施設は廃止され、洋弓場(アーチェリーレンジ)やビーチスポーツ場として再生され、多くの市民に利用されている。</p> <p>今年、防潮堤が完成し、馬込川河口には高さ8メートルの水門が建設される予定となっており、水門を基軸に歩行ができると、防潮堤を利用した新たなスポーツ利用が期待できる。また、南部清掃工場も新清掃工場の完成の折には廃止されると聞いているが、このエリアの利用方法が、ビーチスポーツの聖地としてのさらなる発展につながると考える。</p> <p>そこで、以下5点について伺う。</p> <p>(1) 国内最大級のビーチスポーツ施設に期待するところであるが、具体的な施設の整備計画案及びスケジュールについて伺う。</p> <p>(2) ビーチスポーツ競技の大会や各競技団体の合宿が施設の稼働率の引き上げになる。そのためには、ドームで全天候型にすることや、クラブハウスもある程度の広さが必要になると考えるがいかがか伺う。</p>					中村文化振興 担当部長 "	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>(3) 新しく整備するこのビーチコートが地域へもたらす効果を伺う。</p> <p>(4) 馬込川河口部の将来活用として、県による水門の設置を見据えた防潮堤と海岸線の一体的なスポーツイベントの実施など、市の考え方を伺う。</p> <p>(5) 現在稼働している南部清掃工場の閉鎖後の活用について伺う。</p>	<p>中村文化振興 担当部長</p> <p>〃</p> <p>影山環境部長</p>
<p>3 武道館の改築について</p>	<p>浜松市武道館は、武道に関わる人たちの思いを十分にくみ昭和52年に開館し、現在も様々な団体が利用している。私も剣道を通じて利用した思い出多き施設である。しかし、40年以上経過し、雨漏りや側面のタイルの剥離などが発生するなど老朽化が問題となっている。また駐車場も少なく、利用者が多いときには、朝夕の送迎時に周辺の住民から苦情が出るようになってきた。さらに近年の記録的猛暑の中、空調設備がないことも大きな問題となっている。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 駐車場不足など、市として武道館の現状をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 利用者の利便性など、武道館の将来をどのように考えているか伺う。</p>	<p>中村文化振興 担当部長</p>
<p>4 馬込川・芳川に囲まれた白脇地区の内水の排水対策について</p>	<p>近年発生している台風やゲリラ豪雨において、市内でいち早く避難準備や避難勧告が発令されるのが馬込川・芳川の流域である。沿川地域は昭和40年代から50年代にかけて、土地改良事業で整備されてきたが、時代とともに住環境は著しく変化し、古い排水機場や用排水兼用の水路は、その変化に対応するための改修が必要となっている。</p> <p>そこで、以下4点について伺う。</p> <p>(1) 白脇地区の浸水原因の実態調査結果とその対策について伺う。</p> <p>(2) 樋門の操作及び樋門のない排水路の改修について伺う。</p> <p>(3) 排水機場の改修について伺う。</p> <p>(4) 排水機場の遠隔監視・制御の導入について伺う。</p>	<p>高須土木部長</p> <p>〃</p> <p>山下農林水産 担当部長</p> <p>〃</p>
<p>5 静岡大学と浜松医科大学の統合・再編について</p>	<p>静岡大学と浜松医科大学は、法人としてのブランド力の強化や地域の多様なステークホルダーとの連携強化などを目指し、平成31年3月に法人を統合し、静岡地区と浜松地区の2つの大学に再編する合意書を締結、令和4年度から新大学の入学者受入れを予定している。</p> <p>両大学の統合・再編は、地域の産業における人材の育成や、時代の変革を先取りする研究、次代を担う新たな</p>	<p>鈴木市長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>産業の創出に向けて大変有意義である。また、地域への波及効果も絶大であり、静岡県全体の教育レベルの向上にもつながる。このようなことから、計画通りの新大学の設置に向け、市としても積極的に支援していくべきと考える。</p> <p>そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 改めて両大学の統合・再編について、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 両大学の統合・再編を支援すべきと考えるがいかかか。</p>	
<p>6 水道事業会計の経営状況について</p>	<p>近年の人口減少や健康志向の高まりにより、水道事業の経営環境は大きく変化してきている。このような社会情勢の中、老朽化の進む水道施設の維持管理や更新事業をどのように対処していくのか、また、静岡市や横浜市などでも料金改定をしていくと聞くが、水道事業の経営維持をどのように図っていくのか、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 基幹管路の耐震適合率100%の達成に向けた投資費用はどの程度か。また、今後老朽管の更新にはどの程度予算が必要か伺う。</p> <p>(2) 厳しい経営環境の下、持続可能な事業運営に向けた今後の取組について伺う。</p> <p>(3) 営業費用の2割を超える約23億6千万円の受水費について、「空料金」が問題視されているが、どのように考えているか伺う。</p>	<p>寺田水道事業及び下水道事業管理者</p>